



# くすのき

がっこう  
10月号

よこはましりつほんもくみなみしょうがっこう  
横浜市立本牧南小学校

こう ちょう たにぐち  
校長 谷口 なおみ

## めざす子どもの姿 元気いっぱい、やさしいいっぱい、何でもチャレンジ南っ子！

### いま せい と く 今できることに精いっぱい取り組む

ふくこうちょう はりもち たくろう  
副校長 針持 拓郎

夏休み明けの臨時休校から、分散登校での学校再開となってひと月。不自由の多い1か月でしたが、子どもたちは感染拡大防止の対策に最大限に気をつけながら、できることに精いっぱい取り組んで過ごしていたという印象があります。「オンライン朝の会」という新しい取組にも慣れ、モニター越しに交流を進めている様子に、子どもたちの順応性の高さを感じました。

さて、早いもので10月8日には前期が終わり、「あゆみ」をお渡しします。それぞれ担任や専科・少人数担当教諭がこの半年の学習状況を見て作成したものです。校長と私も全児童分の「あゆみ」に目を通しました。それぞれ子どもたちが努力し、成長している様子が伝わってきました。

自分の小学校の時を振り返ってみたとき、体育で「1」になったことが今でも思い出されます。当時は5段階評価ですから、「1」というのは相当に「苦手だった」ということです。また図工も非常に苦手で、苦勞をしていました。そんな自分が、中学校の美術の先生と美術部の友達との交流から絵を描くことの楽しさを知り、また大人になって体育の授業の推進に重点的に関わることになったのですから、世の中不思議なものです。人というのは変われるものだとしみじみ思います。

自分が担任時代、この時期の子どもたちと保護者へ伝えていたのは、「『あゆみ』は『結果』ではなく『経過』である」ということです。観点別学習状況がCであっても、それは今後の取組次第でBにできる場合もあるし、Aであったとしてもこの後、何もしなければそれが維持できるとも限りません。大事なのは、今の自分の力を掴んだ後、「どのように取り組んでいくか」ということです。ぜひ「あゆみ」はその取組の参考にしてほしいと思います。

まだ予断を許す状況ではありませんが、10月4日から従来の形での学校生活に戻ります。これまで以上に感染症対策にしっかりと取り組んでいかなければいけないと思います。運動会は行わず、予定通りの日程で、今年は演技が中心の「演技発表会」を開催します。「本牧南ランド」は延期して11月20日の「50周年記念式典」と同日に行います。4年生の日帰り体験学習や11月の地域を交えた防災拠点訓練は、残念ながら中止となりました。6年生の宿泊体験学習や5年生の日帰り体験学習等も今後の状況によっては変更の可能性がありますが、どんな状況になっても、子どもたちが今できることに精いっぱい取り組み、自分自身を成長させていくことができるようにしていきたいと思っています。



「秋の交通安全週間」ありがとうございます。